KAKUDAI

サーモスタットシャワー混合栓（デッキタイプ）

取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この取扱説明書は、別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、サーモスタットシャワー混合栓(デッキタイプ)をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

製品同梱明細

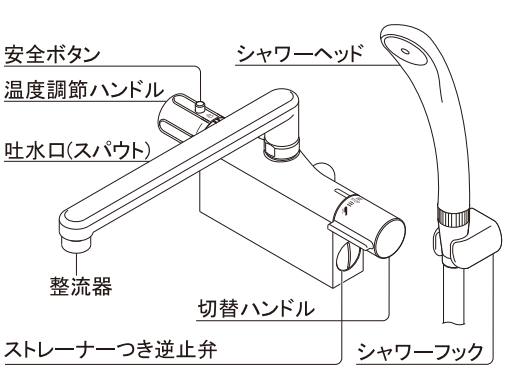
施工される際に、製品同梱明細で各部材をご確認のうえ、施工説明書とあわせてご使用ください。

品番	本体	パッキン（大）（2コ）	菊座（2コ）	水栓固定ナット（2コ）	吐水口（スパウト）	シャワーヘッド	シャワーフック（2コ）	シャワーホース	シャワーフック用ビス（4コ）
175-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-001K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-002K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-003	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-003K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-009	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-009K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-011	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-011K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-012	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-012K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-013	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-013K	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-019	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175-019K	○	○	○	○	○	○	○	○	○

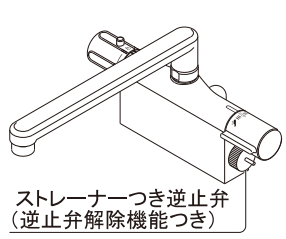
＊上記部材に加えて、
●施工説明書　●取扱説明書　●安全上のご注意　●保証書　●取扱シール
●六角レンチ(対辺4ミリ)※175-009(K)、175-019(K)のみ
を同梱しています。

各部のなまえ

175-001・175-002・175-003・175-009
175-011・175-012・175-013・175-019



175-001K・175-002K
175-003K・175-009K
175-011K・175-012K
175-013K・175-019K
（寒冷地用）



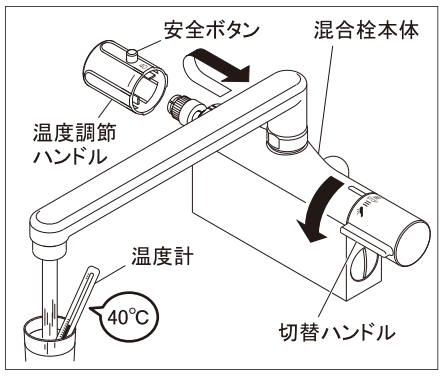
＊表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

使用する前に

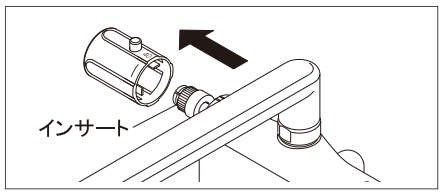
温度調節方法

取付現場の状態によって目盛通りの吐水温度にならない場合は、下記の要領で調節してください。

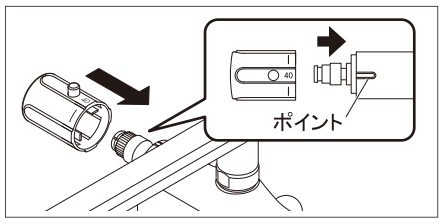
温度調節時の確認事項	1. 止水栓または元栓が開いているか。 2. ストレーナーのゴミ詰まりはないか。 3. 給湯温度は十分であるか。



①混合栓本体を押さえながら温度調節ハンドルを抜取り、再度、軽くはめ込んでから切替ハンドルを吐水口側に開きます。
温度計で測りながら、40℃の湯が出る位置まで目盛数値に関係なく、ゆっくりと温度調節ハンドルをまわしていきます。



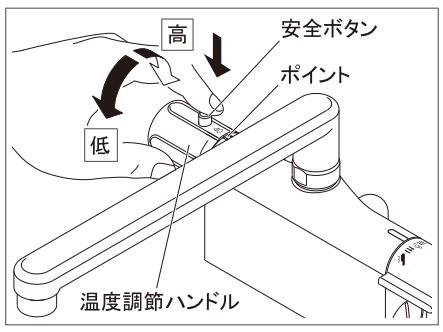
②吐水温度が40℃になりましたら、温度調節ハンドルがそれ以上まわらないように注意しながら、温度調節ハンドルを抜取ります。



③温度調節ハンドルの「40℃」の表示が混合栓本体の「ポイント」に合うように温度調節ハンドルを混合栓本体にはめ込みます。
＊温度調節ハンドルをはめ込む際は、混合栓本体をしっかりと押さえてください。

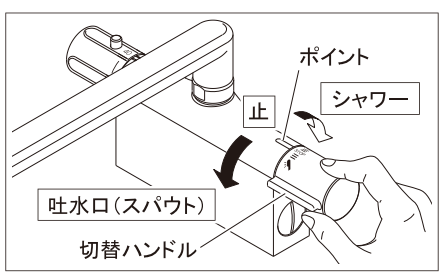
使用方法

温度調節ハンドルの操作方法



温度調節ハンドルを手前にまわすと「低温の湯または水」に、後ろにまわすと「高温の湯」になります。
吐水温度を上げる場合、安全ボタンの働きにより42℃付近で一度ハンドルがロックされます。お望みの吐水温度がそれ以上の場合は、安全ボタンを押してからハンドルをまわしてください。
使用後は必ずハンドルをまわして、目盛を40℃以下に戻してください。
＊温度調節ハンドルの数字は吐水温度[摂氏(℃)]を示しています。

切替ハンドルの操作方法



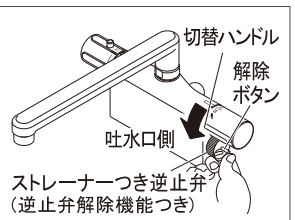
切替ハンドルの「STOP」の表示を混合栓本体の「ポイント」に合わせると止水します。
止水時よりハンドルを手前にまわすと「吐水口(スパウト)より吐水」、後ろにまわすと「シャワーより吐水」します。

凍結防止方法

寒冷地用の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、使用後に水抜きを行ってください。

①配管の水抜栓を操作して、水が出ないようにします。
②切替ハンドルを吐水口(スパウト)側に開き、吐水状態にします。
③混合栓本体の側面にあるストレーナーつき逆止弁(逆止弁解除機能つき)の解除ボタンを湯・水側とも本体に押込み、混合栓内の水を抜きます。
＊解除ボタンは再通水時に自動的に元に戻ります。
④安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルをH側いっぱいにまわして水を抜きます。
⑤吐水口(スパウト)から水が出なくなったら、C側いっぱいにまわして水を抜きます。
⑥吐水口(スパウト)から水が出なくなったら、切替ハンドルをシャワー側いっぱいにまわします。
⑦シャワーヘッドを下向きに、できるだけ床近くまで下げ、ホース内の水を抜きます。
⑧シャワーヘッドを振り、中の水を抜きます。



注意　水抜きをされる際は、吐水口や混合栓本体が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

裏面へ続く➡

凍結防止方法（つづき）

一般地用の凍結防止方法

凍結の恐れがある場合は、下記の予防を行ってください。

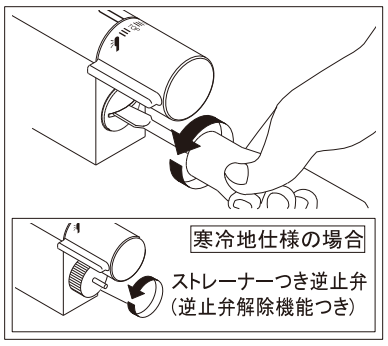
凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。
なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。
●配管を保温する。
●水栓から水を少量出しておく。（目安として1分間に牛乳ビン1本分程度）
＊凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

注意　凍結すると内部の部品が破損し、切替ハンドルを止水位置にしても、吐水口(スパウト)およびシャワーヘッドから漏水することがありますのでご注意ください。

お手入れのしかた

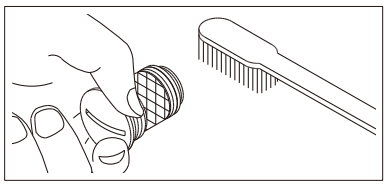
ストレーナーのお掃除

＊作業前に、必ず止水栓または元栓を閉めて止水してください。



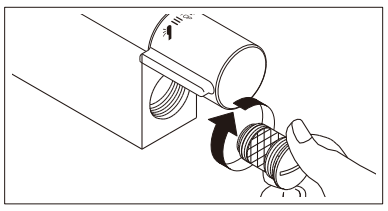
①混合栓本体側面のストレーナーつき逆止弁を「太めのマイナスドライバー」などで湯・水側ともに取外します。
＊寒冷地仕様の場合は、ストレーナーつき逆止弁（逆止弁解除機能つき）を手でまわして取外してください。

注意　湯側のストレーナーつき逆止弁を取外す際は、熱くなっていますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。



②取外したストレーナーつき逆止弁の網目に詰まったゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除きます。

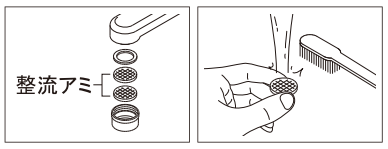
注意　ストレーナーで指などをケガしないようご注意ください。



③①の逆の手順で組直してください。

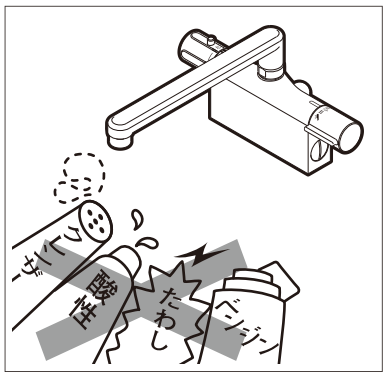
＊作業後は、必ず止水栓または元栓を開いて通水し、漏水がないことをご確認ください。

整流アミのお掃除



最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、整流アミを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ　いつまでも美しくご使用いただくために。

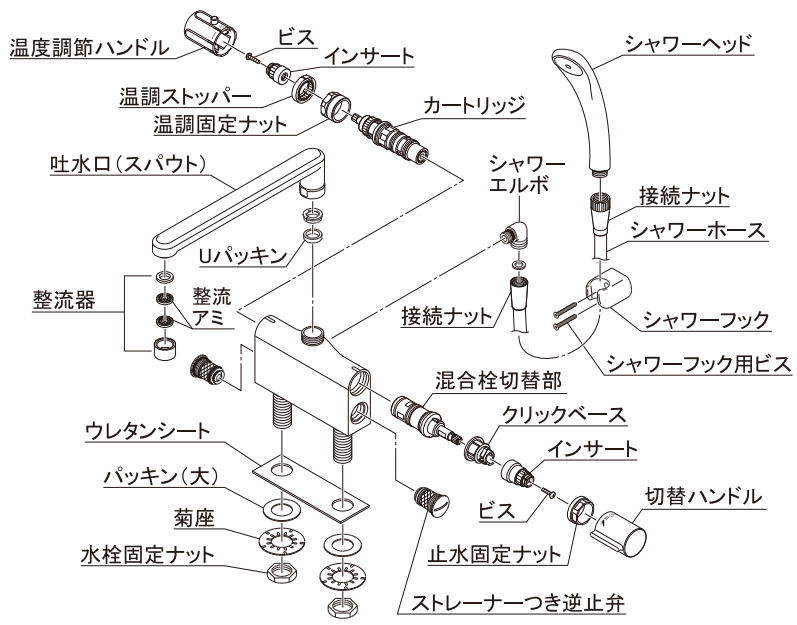


●水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
●水栓器具のプラスチック部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

注意　金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

分解図

175-001・175-002・175-003・175-009・175-011・175-012・175-013・175-019



＊表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
＊製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

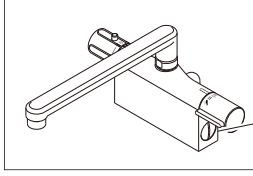
こんな時には…　簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現　象		原　因	対処のしかた
温度調整不良	高温しか出ない	●水側の止水栓または元栓が閉まっている	●水側の止水栓または元栓を調節する
		●水側のストレーナーつき逆止弁の目詰まり	●ストレーナーつき逆止弁を掃除する
		●水側のストレーナーつき逆止弁が機能していない	●ストレーナーつき逆止弁を交換する
		●カートリッジの作動不良	●カートリッジを交換する
	低温しか出ない	必要とする吐水温度より給湯温度が10℃以上高いかどうか、また、給水圧力に大きな変化はないかを確認する（別紙「安全上のご注意」の「使用条件」をご参照ください。）	
		●湯側の止水栓または元栓が閉まっている	●湯側の止水栓または元栓を調節する
		●湯側のストレーナーつき逆止弁の目詰まり	●ストレーナーつき逆止弁を掃除する
		●湯側のストレーナーつき逆止弁が機能していない	●ストレーナーつき逆止弁を交換する
		●カートリッジの作動不良	●カートリッジを交換する
目盛数値とお湯の温度が違う		目盛数値と吐水温度が違う場合は、「使用する前に　温度調節方法」を参照のうえ、調整を行ってください。	
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の止水栓または元栓が閉まっている	●適正水量になるまで止水栓または元栓を開く
		●湯・水側のストレーナーつき逆止弁の目詰まり	●ストレーナーつき逆止弁を掃除する
		●湯・水の水量に大きな差がある	●止水栓または元栓を調節する
		●整流アミの目詰まり	●整流アミを掃除する
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない	●湯・水の元栓を開く
		●湯・水側の止水栓または元栓が閉まっている	●適正水量になるまで止水栓または元栓を開く
		●湯・水側のストレーナーつき逆止弁の目詰まり	●ストレーナーつき逆止弁を掃除する
		●ストレーナーつき逆止弁が機能していない	●ストレーナーつき逆止弁を交換する
止水不良	切替ハンドルをシャワー側にした時、吐水口(スパウト)の先端から漏水	●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷	●混合栓切替部を交換する
	切替ハンドルを吐水口(スパウト)側にした時、シャワーヘッドから漏水	●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷	●混合栓切替部を交換する
	切替ハンドルの止水位置で漏水	●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷	●混合栓切替部を交換する
	切替ハンドル部からの漏水	●混合栓切替部の締付けがゆるい	●混合栓切替部を締付ける
		●混合栓切替部のOリングの摩耗、または損傷	●混合栓切替部を交換する

分解禁止　本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。
故障の原因となります。

修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体裏に貼付してあるラベルでご確認ください。

＊＊ JIS ＊
000-000 ← 品番

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ

本 社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1-4-4　☎(06)6538-1124

東 京 ☎(03)3552-0981　名古屋 ☎(052)504-1551　大 阪 ☎(06)6730-3391　福 岡 ☎(092)611-4611
広 島 ☎(082)278-2821　札 幌 ☎(011)704-1511　仙 台 ☎(022)239-8371

0420GF　M-A9827C

無断転載・複写を禁ず